

河野元昭

文人画

往還する美



知と美の共演——

乾山・大雅・蕪村・呉春・玉堂・竹田・米山人・文晁・崑山…
中国文人画の影響のもと 何を学び
何を理想として自らの画境へ到ったのか
生き方をも含めた研鑽の跡をたどる26篇

——それが文人画

思文閣出版

河野元昭著『文人画 往還する美』

▶A5判上製・752頁／定価：本体 15,000円+税
ISBN978-4-7842-1923-0

【2018年11月刊行】

内容目次

第1章 日本文人画試論	第1章 日本文人画試論	第1章 日本文人画試論	第1章 日本文人画試論
第2章 日本文人花鳥画序説	第2章 日本文人花鳥画序説	第2章 日本文人花鳥画序説	第2章 日本文人花鳥画序説
第3章 日本初期文人花鳥画試論	第3章 日本初期文人花鳥画試論	第3章 日本初期文人花鳥画試論	第3章 日本初期文人花鳥画試論
第4章 江戸時代写生写意考	第4章 江戸時代写生写意考	第4章 江戸時代写生写意考	第4章 江戸時代写生写意考
第5章 「写生」の源泉——中国	第5章 「写生」の源泉——中国	第5章 「写生」の源泉——中国	第5章 「写生」の源泉——中国
第6章 日中の自然と山水画	第6章 日中の自然と山水画	第6章 日中の自然と山水画	第6章 日中の自然と山水画
第7章 日本文人画と中国憧憬	第7章 日本文人画と中国憧憬	第7章 日本文人画と中国憧憬	第7章 日本文人画と中国憧憬
第8章 乾山文人画試論	第8章 乾山文人画試論	第8章 乾山文人画試論	第8章 乾山文人画試論
第9章 大雅の詩——光と色の世界	第9章 大雅の詩——光と色の世界	第9章 大雅の詩——光と色の世界	第9章 大雅の詩——光と色の世界
第10章 大雅二十代の作品——沈鬱と偏執と緊張	第10章 大雅二十代の作品——沈鬱と偏執と緊張	第10章 大雅二十代の作品——沈鬱と偏執と緊張	第10章 大雅二十代の作品——沈鬱と偏執と緊張
第11章 大雅指墨試論	第11章 大雅指墨試論	第11章 大雅指墨試論	第11章 大雅指墨試論
第12章 結城・下館時代の蕪村画	第12章 結城・下館時代の蕪村画	第12章 結城・下館時代の蕪村画	第12章 結城・下館時代の蕪村画
第13章 蕪村の微光感	第13章 蕪村の微光感	第13章 蕪村の微光感	第13章 蕪村の微光感
第14章 行路の画家蕪村——その旅立ち	第14章 行路の画家蕪村——その旅立ち	第14章 行路の画家蕪村——その旅立ち	第14章 行路の画家蕪村——その旅立ち
第15章 池田時代の呉春	第15章 池田時代の呉春	第15章 池田時代の呉春	第15章 池田時代の呉春
第16章 玉堂と酒	第16章 玉堂と酒	第16章 玉堂と酒	第16章 玉堂と酒
第17章 米山人伝小考	第17章 米山人伝小考	第17章 米山人伝小考	第17章 米山人伝小考
第18章 米山人と武陵桃源	第18章 米山人と武陵桃源	第18章 米山人と武陵桃源	第18章 米山人と武陵桃源
第19章 竹田と画帖	第19章 竹田と画帖	第19章 竹田と画帖	第19章 竹田と画帖
第20章 真景の理想化——竹田の山水図	第20章 真景の理想化——竹田の山水図	第20章 真景の理想化——竹田の山水図	第20章 真景の理想化——竹田の山水図
第21章 田能村竹田の勝利	第21章 田能村竹田の勝利	第21章 田能村竹田の勝利	第21章 田能村竹田の勝利
第22章 関東南画の成立と展開	第22章 関東南画の成立と展開	第22章 関東南画の成立と展開	第22章 関東南画の成立と展開
第23章 文晁と藍瑛	第23章 文晁と藍瑛	第23章 文晁と藍瑛	第23章 文晁と藍瑛
第24章 文晁の中国画学習——『顧氏画譜』と『漂客奇賞図』	第24章 文晁の中国画学習——『顧氏画譜』と『漂客奇賞図』	第24章 文晁の中国画学習——『顧氏画譜』と『漂客奇賞図』	第24章 文晁の中国画学習——『顧氏画譜』と『漂客奇賞図』
第25章 文晁の中国画学習——『書画甲観』と『集古十種』	第25章 文晁の中国画学習——『書画甲観』と『集古十種』	第25章 文晁の中国画学習——『書画甲観』と『集古十種』	第25章 文晁の中国画学習——『書画甲観』と『集古十種』
第26章 崑山と江戸絵画	第26章 崑山と江戸絵画	第26章 崑山と江戸絵画	第26章 崑山と江戸絵画

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	文人画 往還する美		本体15,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1923-0
お名前		tel			書店番線印
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
				本書HPのQRコード	

※作品そのものに誠実に向き合い、画像・文献を問わずあらゆる史料を博搜する、堅実な学問的営為でありながら、広範な学識と鋭敏でしなやかな感性に支えられた叙述力で、その時代を生きた作家たちの息づかいまでが伝わる、豊穡な河野美術史の世界。

※日本近世絵画史全体にわたる業績のなかから、知と美の共演というべき文人画研究を集大成。

※乾山・大雅・蕪村・呉春・玉堂・竹田・米山人・文晁・崑山：彼らが中国文人画の影響のもと、何を学び、何を理想として、どのような画境へ到ったのか——生き方をも含めた研鑽の跡をたどる26篇。

こうの・もとあき：一九四三年生 静嘉堂文庫美術館館長・
東京大学名誉教授・京都美術工芸大学元学長・『國華』元主幹

琳派 響きあう美

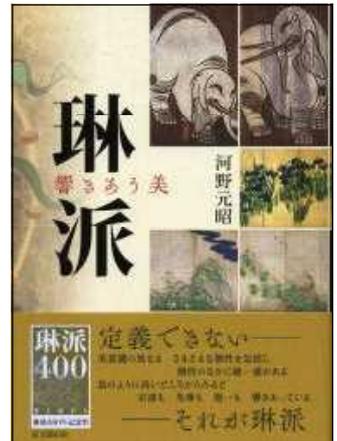
河野元昭著

琳派と呼ばれた芸術家たちが互いにどう影響し合い、独自の美を生み出してきたのか。才能あふれるクリエイターたちの実像に迫る27篇。

【内容】

- I 光悦試論／宗達関係資料と研究史／養源院宗達画考／宗達における町衆的性格と室町文化／宗達から光琳への変質／宗達金銀泥絵序説／琳派の主題—宗達の場合—／宗達と能
 II 光琳水墨画の展開と源泉／光琳二大傑作の源泉と特質／尾形光琳と大坂／光琳と能／光琳水波試論／光琳と津軽家／光琳と乾山—山根有三先生の墓前に捧ぐ—／渡辺始興筆「真写鳥類図巻」について
 III 乾山の伝記と絵画／乾山と定家—十二月花鳥和歌の世界—／乾山と光琳—兄弟逆転試論—
 IV 抱一の伝記／抱一の有年紀作品／光琳百図の基底／抱一筆十二月花鳥図考／抱一筆十二月花鳥図における和と漢／酒井抱一の芸術—微光感覚を中心に—／鈴木其一の画業

▶A5判・880頁／本体9,000円 ISBN978-4-7842-1785-4



※宗達伊勢物語図色紙

羽衣国際大学日本文化研究所 伊勢物語絵研究会編

17世紀前半に京都の俵屋宗達の工房で制作された「伊勢物語図色紙」。その59面のすべてをカラー・原寸大で掲載。色紙に描かれた伊勢物語の世界解釈、伊勢物語絵巻・絵本との比較対照、宗達における色紙の位置づけ、裏書の解説、色紙の特徴的な構図と技法、色紙の成立動機、色紙をめぐる人的ネットワークなどに関する新たな知見を収録。

▶B4判変・220頁／本体19,000円 ISBN978-4-7842-1679-6

円山応挙論

冷泉為人著

安永天明期の京都画壇の中心人物であった円山応挙。本書は、円山応挙の写生を〈速写の写生〉〈形似の写生〉〈生写の写生〉の三つに分類して論究することで、誰もが納得する絵画を描き続ける「職人」としての応挙の姿を浮かび上がらせる。著者の50年にわたる日本近世絵画研究の集大成。

▶A5判・436頁／本体9,500円 ISBN978-4-7842-1907-0

住吉如慶筆 伊勢物語絵巻

伊勢物語絵研究会編

近世における伊勢物語絵の最高水準を示す作品とされる住吉如慶筆「伊勢物語絵巻」(東京国立博物館蔵)。本書は、絵巻全体の構成や場面解説および解釈の最新研究成果を提示する。絵画史、国文学のみならず歴史学や住宅建築史、さらに文化史や服飾史などの幅広い視点から、如慶が描く伊勢物語絵の魅力にせまる。

▶A4判・328頁／本体27,600円 ISBN978-4-7842-1959-9

写しの力 創造と継承のマトリクス

島尾新・彬子女王・亀田和子編

二項対立的に「オリジナル」と「コピー」を捉え、模本を原本に劣るものとして考えるのではなく、日本美術における模写の伝統をさまざまな角度から再検討する試み。

【内容】中国への憧れを写す／図像の伝承としての「写し」／「写し」の意味と役割

▶A5判・278頁／本体4,000円 ISBN978-4-7842-1711-3

風俗絵画の文化学Ⅱ 虚実をうつす機知

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗絵画とは虚実をうつす機知の媒体である。絵画の制作に関わった人々の複雑に絡み合う視線の交錯を文化的に考察し、そこにあらわれた「機知」——虚実を往来する機微や感性の「かたち」——を明らかにしていく15篇。

▶A5判・450頁／本体7,000円 ISBN978-4-7842-1615-4

風俗絵画の文化学Ⅲ 瞬時をうつすフィロソフィー

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗画の歴史的な実証に留まらず、描かれた事象に織り交ざる虚実を読み解くことで、鑑賞されることを意識した美的な演出や、儀礼や慣習から生じた絵の上での約束事や仕掛け、信仰のイメージや地域に根ざした特殊な世界観などといった、人間の営為そのものの原理を探究する、哲学的思考(フィロソフィー)へと解釈を広げた13篇。

▶A5判・434頁／本体7,000円 ISBN978-4-7842-1775-5

描かれた祇園祭 山鉦巡行・ねりもの研究

八反裕太郎著

祇園祭を主題に描かれた絵画作品は数多く、洛中洛外図なども含まれれば近世以前だけでも200点をくだらないが、その膨大さゆえに祭の全体を見渡す視点が大きく欠落していたといわざるを得ない。本書は、祇園祭の山鉦巡行ならびに江戸の中期に始まる神輿洗のねりものを描いた絵画作品から、その祭儀の変遷を読み解こうと試み。

▶A5判・970頁／本体15,000円 ISBN978-4-7842-1906-3

原本『古画備考』のネットワーク

古画備考研究会編

東京藝術大学附属図書館に所蔵される朝岡興偵自筆の原本『古画備考』を中心に、古画備考研究会が取り組んできた共同研究の成果。古画備考…聖徳太子の時代から江戸末期までの日本の絵画に関する情報を48巻53冊にまとめた大部な書物で、前近代に成立したあらゆる画題、画派、画人を網羅する。日本美術史の基本図書。

▶A5判・498頁／本体9,200円 ISBN978-4-7842-1674-1

田能村竹田基本画譜[全2巻]

宗像健一編著

図版篇には厳選された140点(カラー95点・モノクロ45点)の作品を大型図版で収録。解説篇には総論と基本作品の詳細を極めた個別解説のほか、題詩・落款・印譜・年譜などを収録。美術史はもちろん、豊後(大分県)の地誌編纂に携わるなどした竹田の多才にあわせ、大分県・煎茶・漢詩・儒学・歴史など広範な研究に大いに益する。

▶B4判変・総398頁／本体28,000円 ISBN978-4-7842-1566-9

没後220年 蕪村

逸翁美術館・柿衛文庫編

南画・俳諧、さらに俳画の大成者として輝かしい足跡を残した与謝蕪村(1716-83)の没後220年を記念し、逸翁美術館と柿衛文庫が共同で編集。南画・俳画・嫁入手・扇面・草稿・短冊・俳書・書簡など、新出作品もふくめ全176点を解説を付してカラーで収録。書簡については巻末に翻刻・解説を併載。

▶A4判・210頁／本体2,200円 ISBN4-7842-1162-4

幕末明治の文人 山中信天翁【販売終了】

天門美術館 企画・編集・発行

幕末から明治維新に至る社会変革を推し進めた文人芸術家・山中信天翁(1822-1885)。本書は、3篇の論考と多数の図版(絵画・書・194点の印章)からなり、明治初期に京都文人画壇の中心にいた山中信天翁の芸術を探究した最初の本格的な研究書。

▶A4判変・236頁／本体3,000円 ISBN978-4-7842-1972-8

セザンヌと鉄斎 同質の感動とその由縁

山岸恒雄著

フランスの画家ポール・セザンヌと富岡鉄斎。両者の絵の同質性については、以前より指摘があったが、その理由については、明かされていない。本書は、この同質性が何に由来するものなのか、また何を意味するものなのかを、両画家の生い立ちや教育、思想、哲学、人生観、芸術観等から明かす。

▶A5判・358頁／本体2,800円 ISBN978-4-7842-1796-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。